

2021年10月5日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

東急不動産ホールディングス株式会社が発行する サステナビリティ・リンク・ボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 荒木 三郎、以下当社)は、このたび、東急不動産ホールディングス株式会社(以下、東急不動産 HD)が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド(10年債、100億円、以下、本社債)の引受けにおいて事務主幹事及びストラクチャリング・エージェントを務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

東急不動産 HD は、長期ビジョン「GROUP VISION 2030」に基づく新たな資金調達の枠組みとして、ESG 債の長期発行に関する方針「"WE ARE GREEN"ボンドポリシー」(別紙ご参照)を策定しました。本発行方針に基づき、第一弾として本社債を発行します。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンドに加え、資金使途を限定しないサステナビリティ・リンク・ボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名	称：	東急不動産ホールディングス株式会社第26回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(サステナビリティ・リンク・ボンド) ¹
発 行 年 限	：	10年
発 行 額	：	100億円
利 率	：	0.300%
発 行 日	：	2021年10月11日
償 還 日	：	2031年10月10日
取 得 格 付	：	A(株式会社日本格付研究所)
主 幹 事	：	三菱UFJモルガン・スタンレー証券、大和証券、みずほ証券、野村證券
ストラクチャリング	：	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
・ エ ー ジ ェ ント		

以上

¹ あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標を達成するか否かによって条件が変化する債券。調達資金が必ずしも特定の資金使途に限定されない。本社債のフレームワークは、環境省とその請負事業者(株式会社格付投資情報センター及び株式会社グリーン・パシフィック)により、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020年版」及び「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020(ICMA)」に適合すると確認された。加えて、環境省の「令和3年度グリーンファイナンスモデル事例創出事業に係るモデル発行事例」に応募し、モデル性を有する事例と評価を受け、モデル事例として選定された。また、株式会社日本格付研究所より、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020年版」及び「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020(ICMA)」に適合している旨の第三者意見書を取得。

(別紙)

“WE ARE GREEN”ボンドポリシーの概要

名称	“WE ARE GREEN”ボンドポリシー
目的	以下をWE ARE GREEN”ボンドポリシーの目的とし、ESG債の継続発行を実施していきます。 ・東急不動産HDのESGへの取り組みについて、債券投資家を含むステークホルダーから総合的かつ連続的な理解及び賛同を獲得します。 ・債券投資家に対して安定的なESG債の投資機会を提供しつつ、東急不動産HDのESG債調達基盤の拡充を図ります。
目標	東急不動産HDの社債発行残高に占めるESG債の比率 2025年度末:50%以上 2030年度末:70%以上
エンゲージメント深化	・”WE ARE GREEN”ボンドポリシー・ミーティング(仮)を開催し、東急不動産HDのESGへの取り組み状況、ESG債の進捗等について周知します。 ・投資家等の出席者からご意見・提言等を募ることで東急不動産HDのESGへの取り組みに活かして参ります。
ESG債の資金用途等	長期ビジョン「GROUP VISION 2030」にて設定した価値創造への取り組みテーマ(マテリアリティ)に則したものとします。
ESG債の手法	グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンド、サステナビリティ・リンク・ボンド 但し、新規に発行する段階で第三者評価機関による評価取得を要するものとし、評価の前提となる各種原則等の変更等によって対象ESG債は今後追加・削除される可能性がございます。